

みんなの健康ラジオ

『サーファーズ・イヤー』

(2023年5月25日放送)

横浜スポーツ医会

(医)なごやか会 なごや耳鼻咽喉科

名古屋 孝夫

サーファーズ・イヤーとは

冷たい海水の刺激で、
耳穴のトンネルの壁の骨が膨らむこと

サーフィン・ダイビングなどの、
マリンスポーツで起きやすい

サーファーに多いので、サーファーズ・イヤー

冬の海に入る人、サーフトリップ好きは注意

起こる原因は

長時間の低温刺激から鼓膜温度を守るための
人間の生体防御反応

耳穴の奥のトンネルの壁の骨が突出してきて
外耳道が狭くなることで起きます

医学的名称は、外耳道骨種

サーファーズ・イヤーの症状

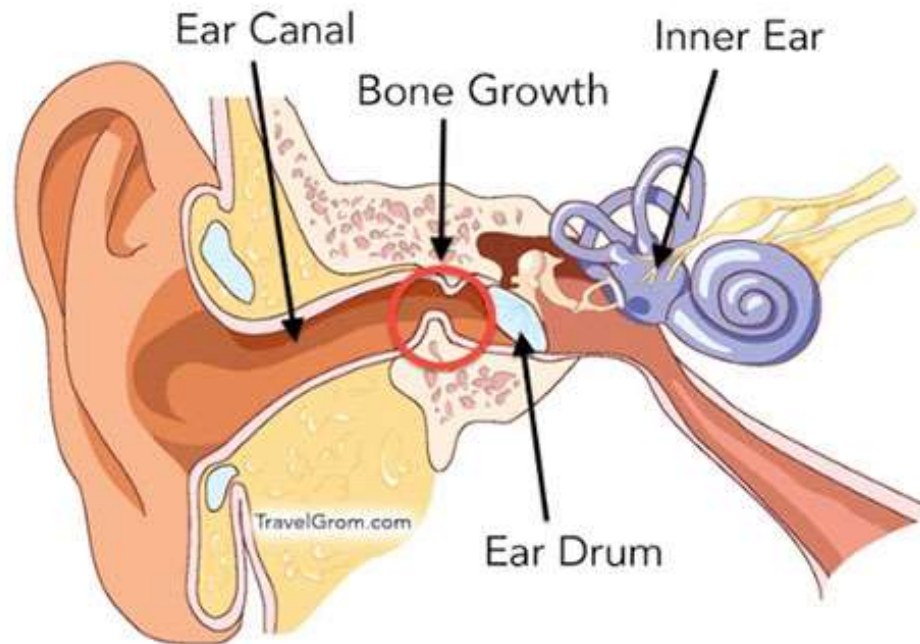
耳垢が取りにくくなる

中耳炎や外耳炎になりやすい

なると耳鼻科でも診察しづらく、鼓膜が見えない

ひどくなると耳がふさがり、難聴になる

所見



耳の奥の壁の骨の肥厚

所見

Figure 2

Grade 0 (正常)	Grade 1	Grade 2	Grade 3
			
正常の外耳道～鼓膜所見。 外耳道の隆起はないので鼓膜全体が見えます。鼓膜の前下方（黄矢印）には光錐と呼ばれる光が反射する部位が見えます。鼓膜の上方には、ツチ骨の短突起が見えます。（青矢印）ツチ骨は中耳に3つある耳小骨のひとつです。	Grade 1 軽度のサーファーズイヤー 外耳道の上方に骨隆起があります。（白矢印）この症例ではツチ骨の短突起が確認できます。外耳道の下方には、目立った隆起はなく、鼓膜の前下方には光錐が見えています。	Grade 2 中等度のサーファーズイヤー 外耳道の上方に2つの骨隆起があります。（白矢印）ツチ骨の短突起は骨隆起にかくれて確認できません。外耳道の下方には、大きな隆起はなく、鼓膜の前下方には光錐が見えています。	Grade 3 高度のサーファーズイヤー 外耳道は3方向からの骨隆起（白矢印）によって、高度に狭窄しています。ツチ骨の短突起も光錐も確認できません。鼓膜もほとんど見えない状態です。

提供：はるか耳鼻咽喉科 中西遥先生